



とう

TOH シングルレバーシリーズ

シングルワンホール混合栓 (ベンリーフレキ付) K87310JV (寒冷地用 .. K87310JK)

施工・取扱説明書

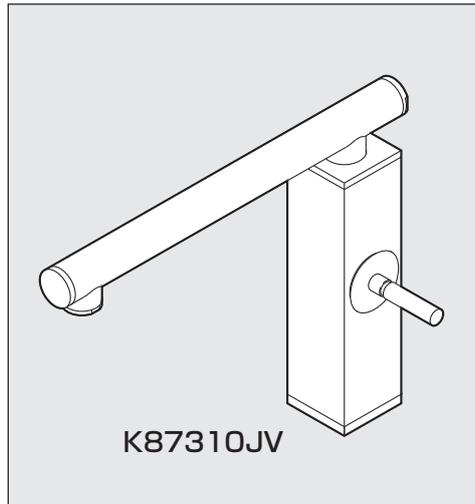
施工、ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書と保証書をお客様へお渡しください。手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。



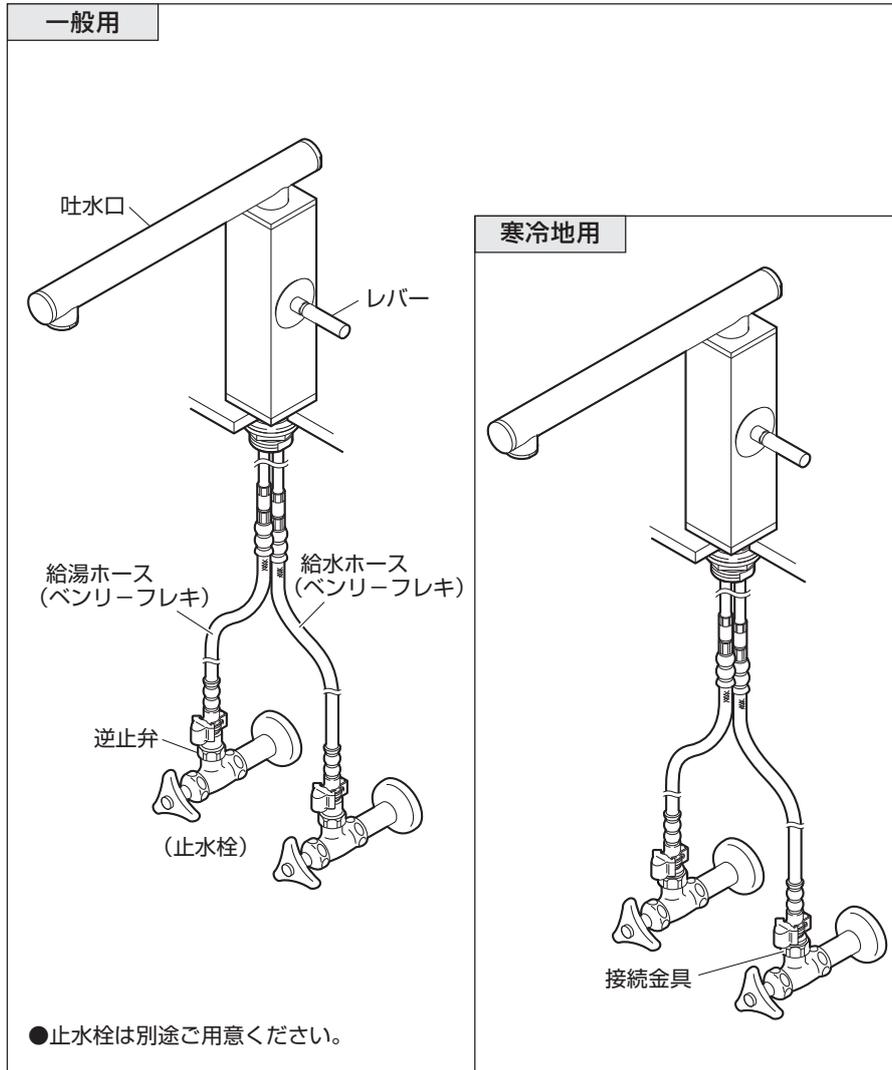
もくじ

各部の名称.....1	器具の取付け...6~12	お手入れ.....18
— 施工について —	— ご使用について —	吐水口の掃除.....19
施工に関する 安全上のご注意...2~3	ご使用に関する 安全上のご注意...13~15	故障? その前に...20
適切な使用条件.....4	使用方法.....16	分解図.....21
梱包明細.....5	寒冷地用の水抜方法...17	陶磁器部品の 交換について.....22

シングルレバー混合栓について

- 本器具は、指一本で吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

各部の名称



施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** ……………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  ……………「注意下さい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  ……………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  ……………「指示通りにして下さい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意



湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをする事があります。



（寒冷地用の場合）

凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結が予想される地域は寒冷地用の器具を選定してください。
（参照：寒冷地用の水抜方法）



本製品はデザイン上、風合いを出すため陶磁器部品を使用しています。
取扱いにはご注意ください。
万一陶磁器部品が割れた場合は、交換部品をご購入ください。
（参照：陶磁器部品の交換について）

〈陶磁器の取扱いについて〉

 注意

陶磁器は温度変化に敏感です。
急熱、急冷を避け、直接火に掛けたりしないようにしてください。



陶磁器は衝撃に弱いのでぶつけたり落としたりしないでください。
運搬や発送などをされるときは梱包にご注意ください。



ひびが入っている陶磁器はご使用にならないでください。
本来の強度を失っていますので危険です。



傷、割れ、カケのある陶磁器はご使用にならないでください。
特に口や手の触れる場所にご注意ください。



陶磁器表面に水滴が付く事がありますが、室温など温度差の影響による
結露水です。
水漏れと誤認のないようにご注意ください。

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合に必要な給水・給湯圧力

条 件
<ul style="list-style-type: none"> ●給水・給湯圧力 0.05MPa {0.5kgf/cm²} ~ 0.74MPa {7.5 kgf/cm²} ●給水圧力と給湯圧力の差が少ないほど、温度調節がしやすくなります。

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

- 水温：25℃
- 吐水温度：42℃
- ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温
- レバーは全開

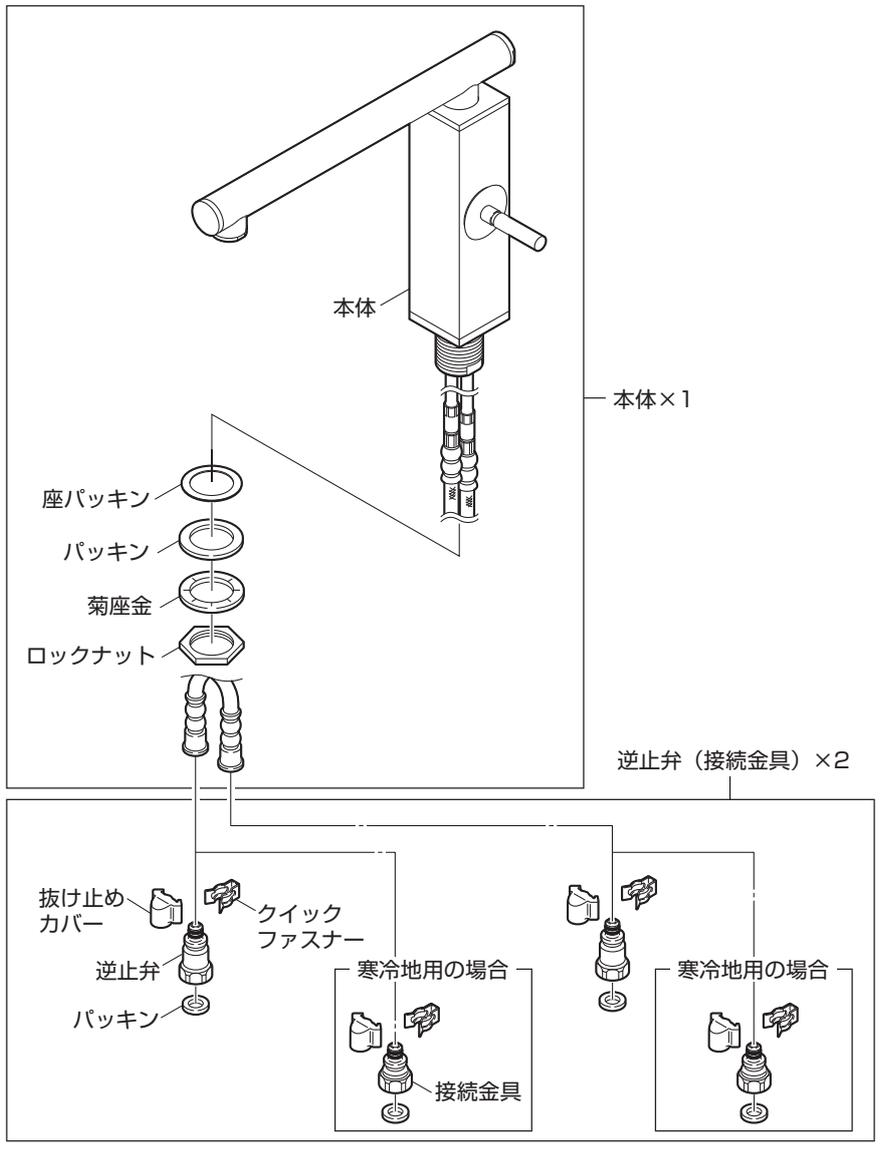
(P = 給湯器の最低作動水圧 MPa {kgf/cm²})

ガ ス 瞬 間 式 給 湯 器			
従 来 タ イ プ			比 例 制 御 タ イ プ
8 号	10 号	12 号	16 号
P+0.07 {0.7}	P+0.09 {0.9}	P+0.12 {1.2}	P+0.098 {1.0}

- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 給湯能力8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気を使用しないでください。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。

梱包明細

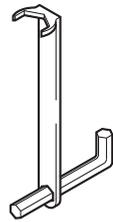
- 本書（施工・取扱説明書）× 1
- 保証書× 1



器具の取付け

主な工具類

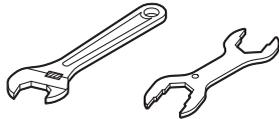
- ナット締付工具：
混合栓取付足のロックナットをまわす時に必要です。



対辺約39mm

(古い混合栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。上記寸法では合わない場合があります。)

- スパナ (モンキーレンチ) など：
混合栓のナットがまわせる工具。



- 使い古しのハブラシなど：
取付穴周囲などの掃除ができるもの。



- 手袋：
ケガ防止のために着用してください。



- タオルなど：
ケガ防止や混合栓保護のために使用します。



- ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。



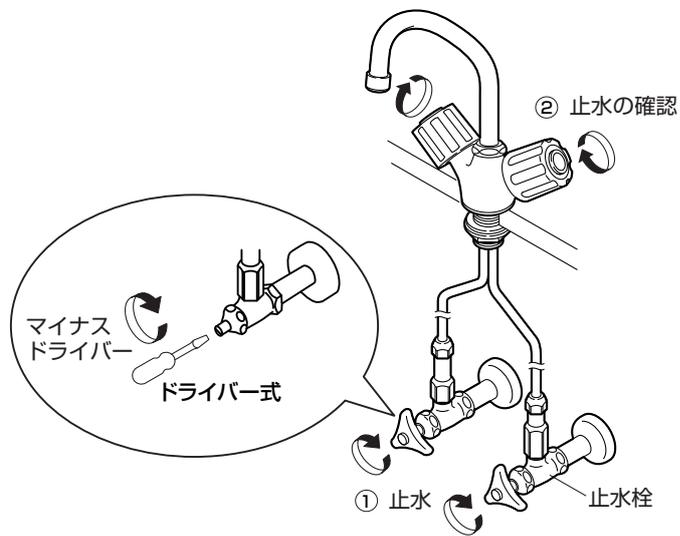
止水栓がドライバー式の場合に必要な工具 (P7参照)

- マイナスドライバー



A 古い混合栓の取りはずし※新設の場合は **B** に進んでください。**1** 湯・水の止水栓を閉めます。

カウンター下の止水栓を右にまわして止水します。
止水した後、混合栓のハンドルを開いて止水の確認をします。



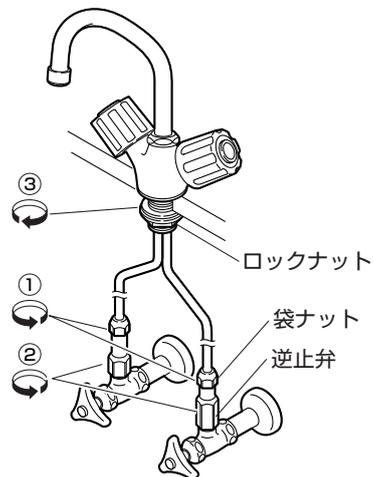
2 ナットを順番にゆるめて、古い混合栓をはずします。

アドバイス

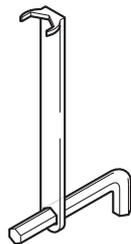
残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

注意

- ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。
- 湯側の残り湯にご注意ください。



使用する工具の例



古い混合栓を取りはずす際は
ロックナット対辺を確認して
ください。

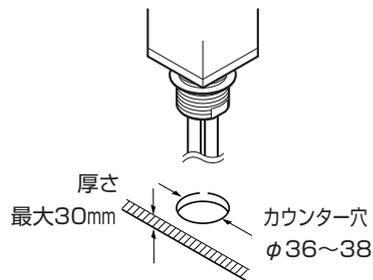
B 新しい混合栓の取付け

3 取付穴周囲のゴミを取り、新しい混合栓を取付けます。

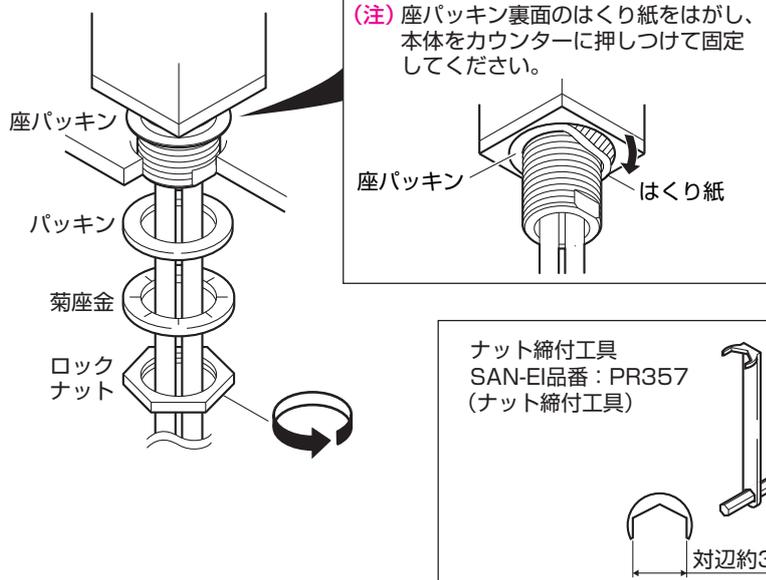
⚠ 注意

配管内にゴミなどが混入すると漏水や水栓の故障の原因となります。
特に新設の場合は、ゴミなどが混入しているため、通水して配管内の
ゴミを洗い流してください。

(1) カウンター穴の寸法の確認を行ってください。

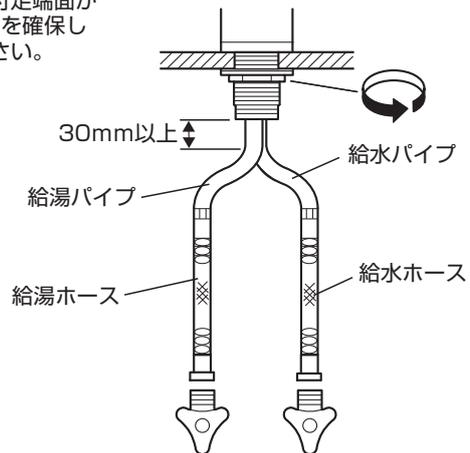


(2) 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。



(注) 給水・給湯パイプの曲げ注意

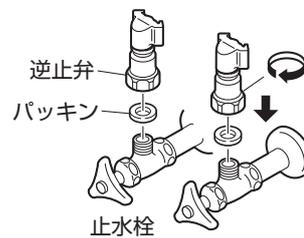
給水・給湯パイプの曲げは取付足端面から30mm以上のストレート部を確保して、その位置から曲げてください。



(注) ホースを必要以上の力で曲げて折らないよう、注意してください。

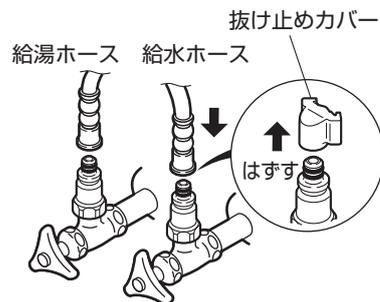
4 給水・給湯ホースに逆止弁(寒冷地用は接続金具)を取付けます。

- (1) カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁(寒冷地用は接続金具)を止水栓などに固定してください。



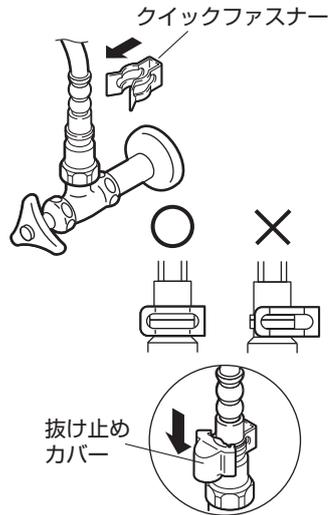
- (2) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースを逆止弁に差し込んでください。

- (注)** ●逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
●抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。



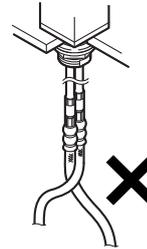
- (3) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁の接続部（ツバ部）にカチッと音がするまで、確実にはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。

- (注) ●クイックファスナーはケガのないよう
 に取り扱いには注意してください。
 抜け止めカバーをはめたままに
 してください。
 ●クイックファスナーは、広げないで
 ください。

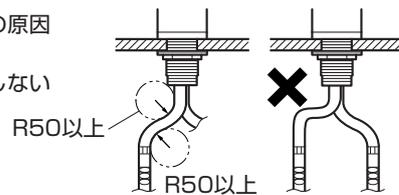


(注) 給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースがねじれないように配管してください。
 ホースがねじれて配管されると加圧した際、
 ホースの接続部のゆるみの原因となります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。
 外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の
 劣化の可能性がありますので避けてください。

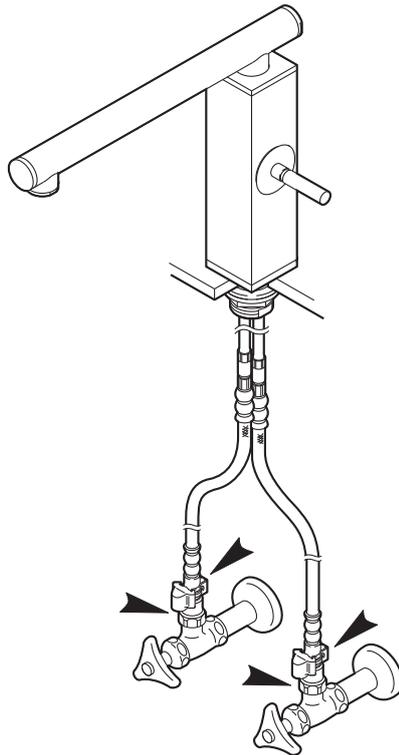


- ホースを曲げる場合は、曲げ半径50mm以上
 確保してください。
 無理に曲げるとホースが破損し、漏水の原因
 になります。
- ホース両端部を極端に屈曲して、施工しない
 ください。



5 止水栓を開いて、水もれをチェックします。

接続後、各部に水もれがないか必ず確認してください。
水もれがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意	……………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
	……………「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
	……………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	……………「分解してはいけません！」
	……………「指示した場所に触れてはいけません！」
	……………「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

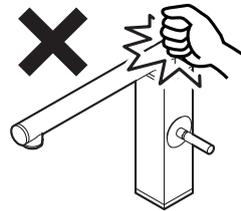
注意



本製品はデザイン上、風合いを出すため陶磁器部品を使用しています。
取扱いにはご注意ください。
万一陶磁器部品が割れた場合は、交換部品をご購入ください。
（参照：陶磁器部品の交換について）



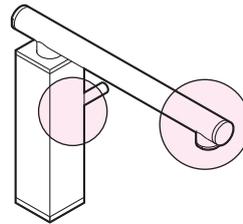
器具に乗ったり、強い衝撃を加えないでください。
器具が破損し、ケガをしたり、漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



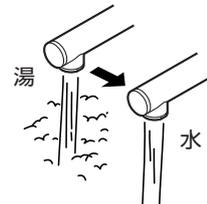
⚠ 注意



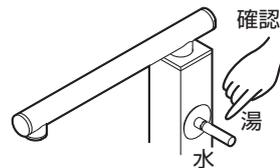
- 器具の左側は給湯側のため高温になっています。器具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



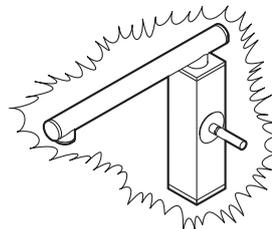
レバーの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。
やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動を押さえた配管設備にするか、サーモスタット混合栓を使用してください。なお、シングルレバー混合栓に比べサーモスタット混合栓の方が水圧変動による吐水温度の変化はわずかな値となります。



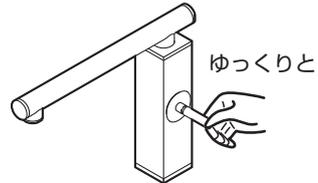
(寒冷地用の場合)
凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
(参照:寒冷地用の水抜方法)



⚠ 注意



レバー操作の急閉止は、配管からの漏水を
起こすことがありますので、ゆっくり操作し
てください。
漏水で家財などをめらす財産損害発生のお
それがあります。



〈陶磁器の取扱いについて〉

⚠ 注意



陶磁器は温度変化に敏感です。
急熱、急冷を避け、直接火に掛けたりしないようにしてください。



陶磁器は衝撃に弱いのでぶつけたり落としたりしないでください。
運搬や発送などをされる時は梱包にご注意ください。



ひびが入っている陶磁器はご使用にならないでください。
本来の強度を失っていますので危険です。



傷、割れ、カケのある陶磁器はご使用にならないでください。
特に口や手の触れる場所にご注意ください。



陶磁器が割れてしまったときは不燃物ごみとして処理してください。
また、片付ける際に手指などケガをされないよう十分ご注意ください。



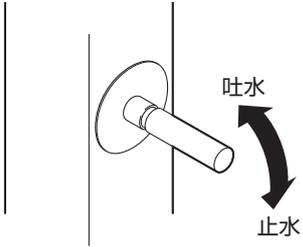
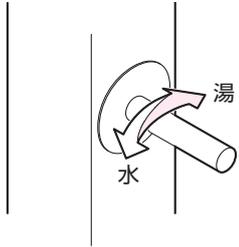
お子様には保護者からご注意ください。



陶磁器表面に水滴が付く事がありますが、室温など温度差の影響による
結露水です。
水漏れと誤認のないようご注意ください。

漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

使用方法

吐水・止水	温度調節
<p>レバーを上へおこすと吐水し、下へたおすと止水します。吐水量は上へおこすほど多くなります。</p> 	<p>レバーを手前へまわすと水、後へまわすほど温度が高くなります。</p> 

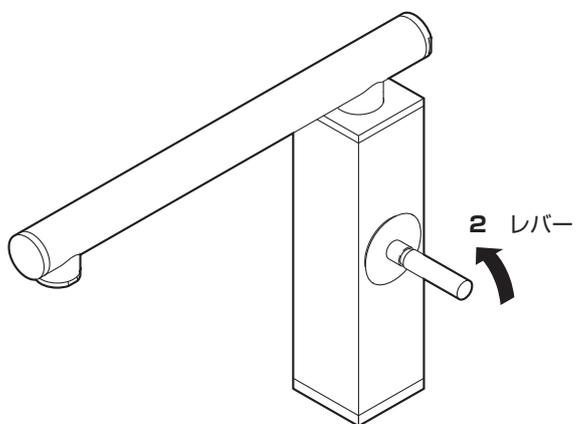
- (注) ガス瞬間式給湯器の場合
レバーは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

P - 17

寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 配管の水抜き栓を操作する。
- 2 レバーを中央位置でおこす。



お手入れ

- メッキ部分（金属製部品）
 - 樹脂部分（プラスチック製部品）
 - 陶磁器部分
- やわらかい布で拭き、時にはミシン油 やわらかい布で水拭きをしてください。
やカーワックスを適量にしみこませた
布で拭いてください。

⚠ 注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みの
おそれがあります。



- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール
などの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



■陶磁器のお手入れについて■

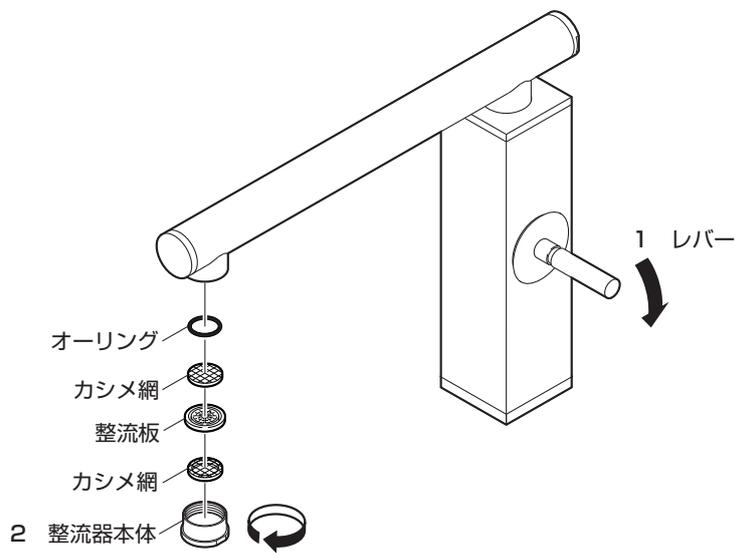


- 陶磁器は吸水性がありますので、ご使用後、ぬれたままにしておきま
すと、汚れた水を吸収しカビやシミ、臭いを発生する原因となります。
ご使用後は早めに汚れを落とし、台所用洗剤で洗った後よくすすいで
ください。また、よく乾燥してください。
- 茶渋、シミなどの汚れが気になる時は、台所用の漂白剤をご使用くだ
さい。その際、誤飲などされないようご注意ください。

吐水口の掃除

近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 レバーをたおし、止水する。
- 2 整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。



再使用时 整流器本体が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	① ②
高温しか出ない。	①
低温しか出ない。	① ② ③
温度調節がうまくできない。	① ② ③
各接合部及びレバー上部から水がもれる。	④
水が止まらない。	⑤

- ① 止水栓は開いているか。
- ② ゴミづまりは。……………参照：吐水口の掃除
- ③ 混合栓に湯がきているか。
- ④ 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。
各接合部からの水もれの場合は水もれ箇所の部品を交換してください。
レバー上部からの水もれの場合はカートリッジを交換してください。……参照：分解図
- ⑤ 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。
カートリッジを交換してください。……………参照：分解図

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店（工事店）にご依頼ください。

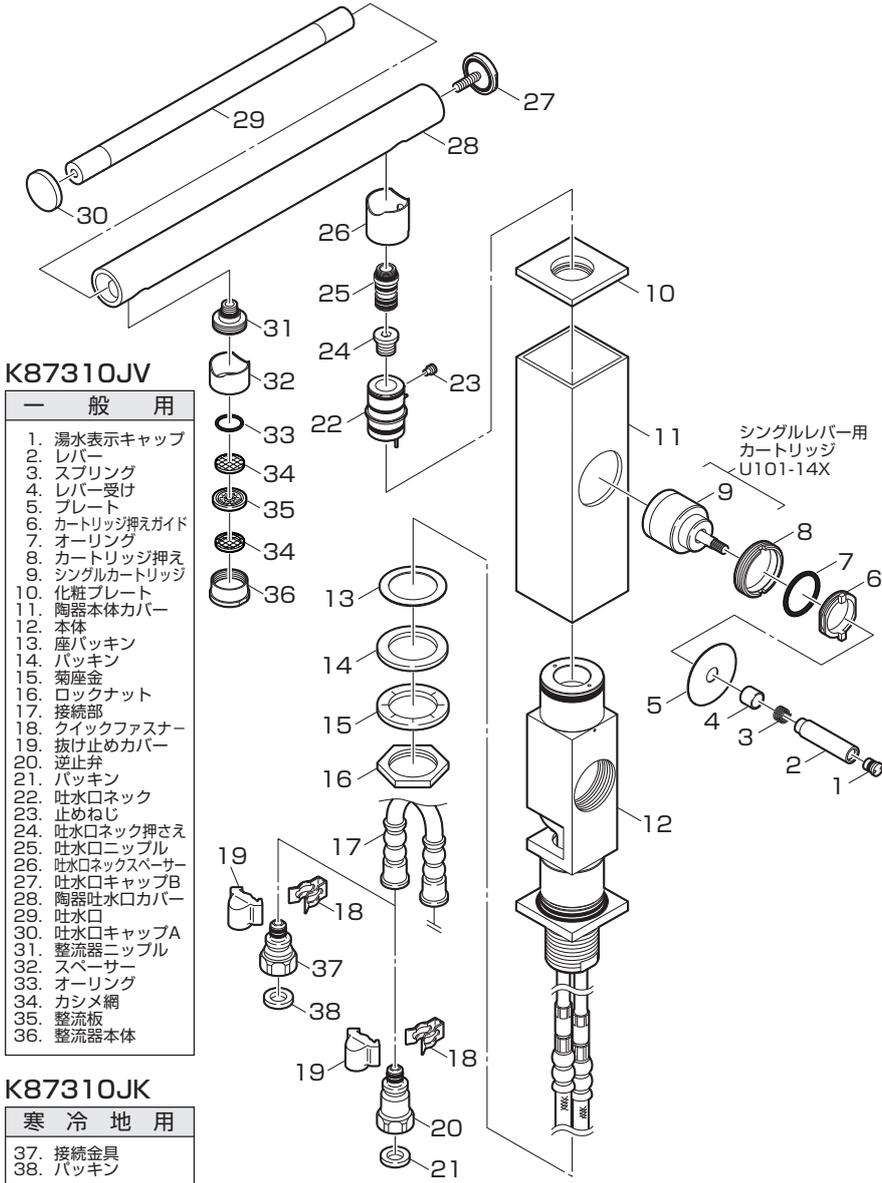
⚠ 注意



カートリッジ内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



陶磁器部品の交換について

本製品はデザイン上、風合いを出すため陶磁器部品を使用しています。万一陶磁器部品が割れてしまった場合には、お買い上げの販売店（工事店）か最寄りのSAN-EI営業所で交換部品をご購入ください。

- (注) ●標準色は砂磁（JI）で、その他は受注生産となります。
●ご注文にあたっては、品番の最後に色記号を付けてください。

色記号	色の名称
JI	砂磁（すなじ）
JW	白磁（はくじ）
JG	緑磁（りょくじ）
JD	墨磁（すみじ）

